

7月7日は『乾しいたけの日』 キャンペーン



7月7日は「乾しいたけの日」です。そして「そうめんの日」でもあり、今年も2つの食材が協力して銀座数寄屋橋公園で「乾しいたけの日・そうめんの日」のキャンペーンを行いました。栄養豊富な森林の恵み「乾しいたけ」と夏に欠かせない「そうめん」。そのおいしさを広く知ってもらおうと、街ゆく人には、サンプルが配布されました。また、乾しいたけの産地からは「くまモン」、「めじろ」と、「そぼっち」が応援に駆けつけてくれました。



7月7日乾しいたけの日
銀座数寄屋橋での
キャンペーン



乾しいたけは、古来から日本の食文化や山村社会の形成に貢献してきた大切な食材です。

しかし、かつては1万トンを超えていた国内生産量は現在、4千トンを割っており、1世帯当たりの年間消費量も昭和50年の417gをピークに5分の1以下まで減少しているなどの厳しい状況に加えて、平成23年の原子力発電所事故以降は、一部の市町村において原料である原木生しいたけや乾しいたけに出荷制限等が措置されたり、風評被害等により、かなり大きな打撃を受けました。

そんな中、乾しいたけの生産・流通関係者を中心とする「日本産・原木乾しいたけをすすめる会」が平成25年から7月7日を「乾しいたけの日」に制定し、おいしさや栄養豊富であることなどを広く消費者の方々に知っていただき、消費拡大につなげようと様々な取組を行っており、林野庁もこうした取組を後押ししています。

その取組として、「乾しいたけの日」である7月7日には、同じく7月7日を「そうめんの日」とする全国乾麺協同組合連合会との協力で、銀座数寄屋橋公園において、そうめんと乾しいたけのサンプルや乾しいたけをおいしく食

消費者の部屋 特別展示
 「ほしに願いを!!7月7日は
 ☆乾しいたけの日・そうめんの日」



原木しいたけ
 使用した料理を
 多数御用意しております
 しいたけそうめん 定食
 しいたけおにぎり ほかです
 期間限定メニューです
 手しご屋 咲くら

省内食堂
 「手しごとや 咲くら」での
 乾しいたけ料理の提供



大分県原木しいたけ
 ししいたけおにぎり。使用
 しいたけそうめん。使用
 ¥680
 期間限定メニュー
 (すだち西瓜)



べるレシピ等の配布(1,000セット)が行われたほか、乾しいたけの産地から「めじろん(大分県)」、「くまモン(熊本県)」、「そばっち(岩手県)」も応援に駆けつけ、乾しいたけのキャラクター「乾しいたけ貴婦人」と一緒に、栄養豊富で旨味がたっぷりな乾しいたけをもっと家庭料理でも使ってほしいとPRしました。

また、それと平行して、農林水産省消費者の部屋において7月6日〜10日まで、特別展示「ほしに願いを!!7月7日は☆乾しいたけの日・そうめんの日」を行い、ここでも「そうめん」とタッグを組み、乾しいたけの保健的な効用や乾しいたけの上手なもどし方と保存法の紹介、各地の乾しいたけ加工食品や乾麺等を展示し、大勢の方にご来場いただきました。

さらに期間中には農林水産省の食堂「手しごとや 咲くら」において、そうめんと乾しいたけを使った料理を提供して、消費拡大に努めました。

そのほか、大分県、宮崎県等の各産地県においても、中央行事と時期をあわせて乾しいたけの消費拡大キャンペーンが実施されました。